

平成31年3月期第2四半期 決算補足説明資料

平成30年 11月8日
福山通運株式会社

(単位:百万円/%)

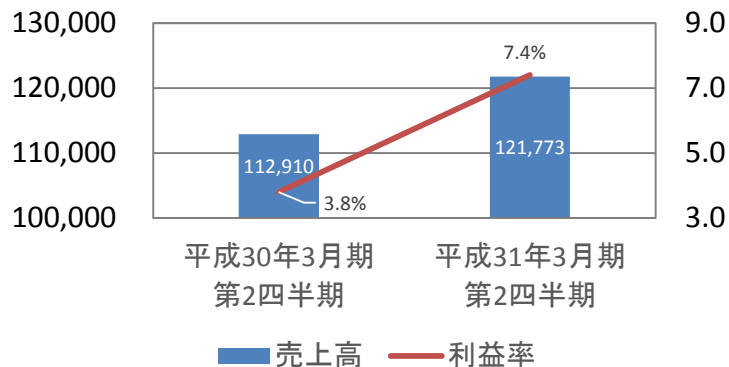
項目	平成31年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期	前年同期比
売上高	138,626	128,847	107.6
営業費用	128,947	123,624	104.3
営業利益 (営業利益率)	9,679 (7.0)	5,222 (4.1)	185.3
経常利益 (経常利益率)	10,801 (7.8)	5,934 (4.6)	182.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,470	3,857	193.7

売上高は、堅調な輸送量と単価改定により、前年同期比+7.6%となりました
 営業費用は、人件費・備車費の増加や燃料価格の上昇により、前年同期比+4.3%となりました
 営業利益は、売上高の増加により前年同期比+85.3%となりました

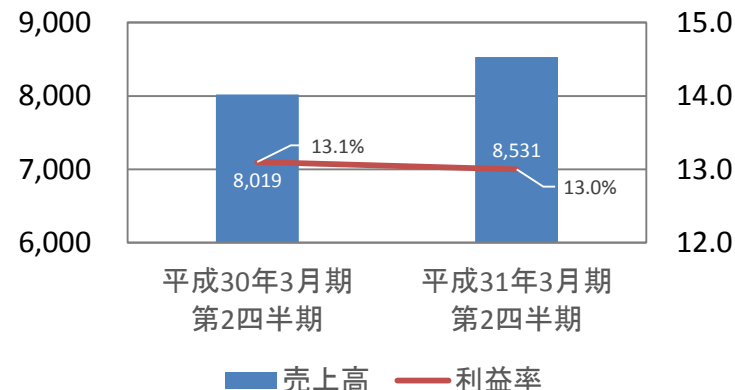
事業別売上高と利益率

(単位:百万円/%)

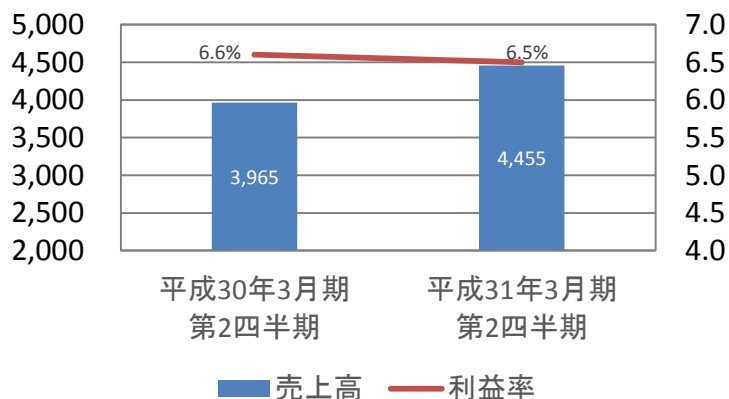
運送事業(ネットワーク・チャーター・引越など
当社グループの中核事業)



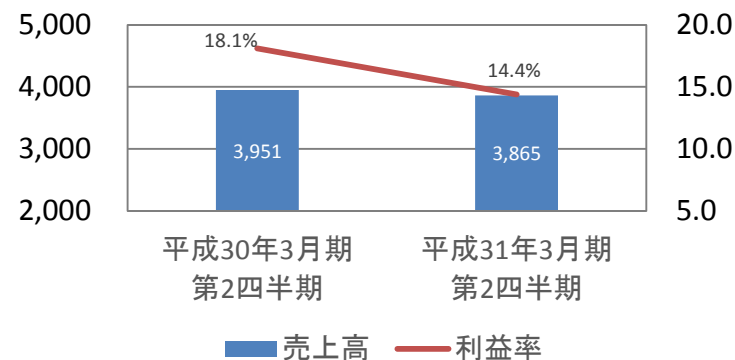
流通加工事業(貨物保管・物流加工・倉庫など)



国際事業(国際運送・国際利用運送・通関など)



その他事業(不動産賃貸・商品販売・コンビニ・
ボウリングなど)



(単位:百万円/%)

項目	平成31年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期	前年同期比
人件費	58,356	55,479	105.2
物件費	48,893	45,987	106.3
諸費	15,262	15,342	99.5
減価償却費	6,434	6,815	94.4
営業費用	128,947	123,624	104.3

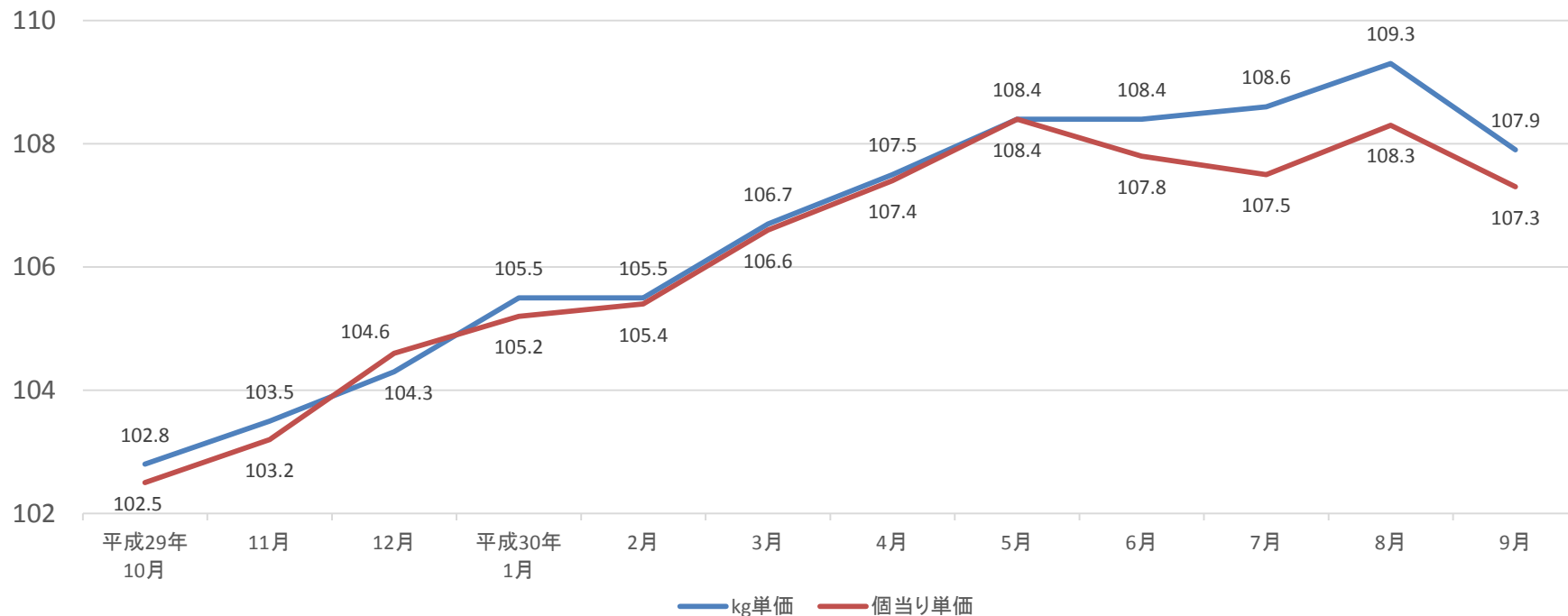
人件費:給料手当の引き上げや外注人件費が増加

物件費:燃料油脂費・備車費は増加したものの、業務の効率化により想定よりも抑制

諸費:取扱手数料が増加したものの、租税公課が減少

運賃是正

(前年同月比/単位: %)



(ネットワーク)	平成29年 10月	11月	12月	平成30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平成31年3月期 上半期
kg単価	102.8	103.5	104.3	105.5	105.5	106.7	107.5	108.4	108.4	108.6	109.3	107.9	108.3
個当り単価	102.5	103.2	104.6	105.2	105.4	106.6	107.4	108.4	107.8	107.5	108.3	107.3	107.7
輸送量	105.3	102.3	103.2	100.6	99.9	98.2	102.6	103.2	97.1	102.1	98.9	93.9	99.6

平成30年3月期 下半期

平成31年3月期 上半期

運賃是正と顧客構造改革

輸送4要素

(前年同期比: %)

	トンキロ単価	個当り単価	kg当り単価
小口貨物	98.8	104.5	102.7
商業小口	108.4	108.7	109.5
商業貨物	107.8	109.2	109.1
重厚長大	109.4	110.8	109.0
全体	107.3	107.7	108.3

運賃占有率

	平成31年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期	前年同期比
小口貨物	28.0	28.0	100.0
商業小口	24.1	23.4	103.0
商業貨物	22.4	22.2	100.9
重厚長大	25.5	26.4	96.6

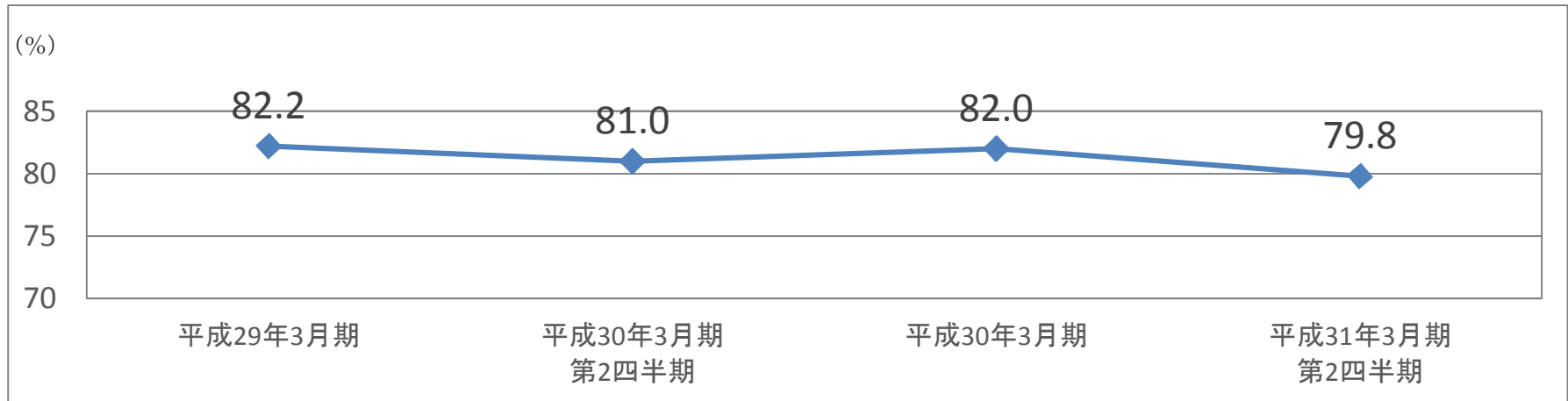
重量占有率

	平成31年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期	前年同期比
小口貨物	17.2	16.3	105.5
商業小口	23.2	22.8	101.8
商業貨物	27.4	27.4	100.0
重厚長大	32.2	33.5	96.1

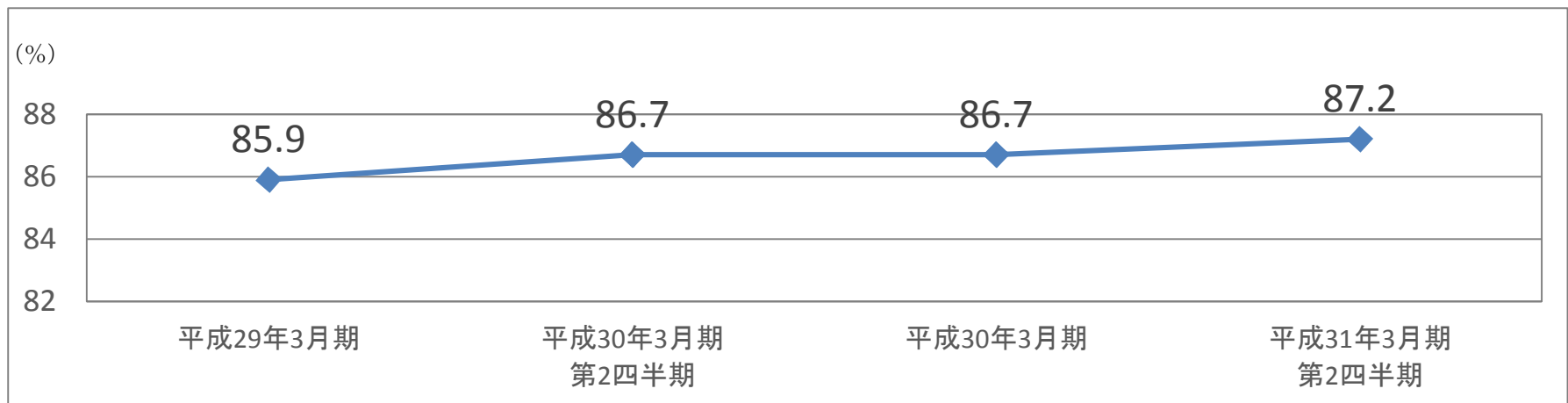
- 新得意先マスタの導入
- 不採算荷物の見直し
- 小口・商業小口の取扱い拡大

運行便積載率と運行便自社化率の推移

■ 運行便積載率



■ 運行便自社化率



(単位:百万円/%)

	平成31年 3月期予想	平成30年 3月期実績	前期比
売上高	281,800	267,799	105.2
営業利益 (営業利益率)	18,300 (6.5)	14,726 (5.5)	124.3
経常利益 (経常利益率)	20,200 (7.2)	16,119 (6.0)	125.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,500	10,664	126.6